



学校だより

平成29年3月24日

横浜市立高田中学校

3月号増刊(第28-13号) TEL: 591-4183

第29回卒業証書授与式 新たな道への旅立ち

3月10日(金)第29回卒業証書授与式が行われました。当日は、天候にも恵まれ、連合町内会長様をはじめ地域の皆様、高田小、高田東小から校長先生、光明幼稚園から事務長様、PTA役員の皆様など29名のご来賓、多数の保護者の皆様、1、2年生全員が卒業生の門出を祝いました。卒業式の予行の時から感じていましたが、卒業生はもちろんです。在校生の式での態度がとても落ち着いていて厳粛な雰囲気合った立派なものでした。式中に歌われた1、2年生合唱は、お世話になった3年生の卒業を祝福するとともに、感謝の気持ちがこもった大きな声ときれいなハーモニーの合唱でした。また、卒業生の合唱も迫力があり美しい合唱でした。答辞では、前生徒会長の池庄司さんが、3年間を振り返る中で、感動の涙があふれてしまう場面もありました。式の終了が近づくとともに、涙を拭く卒業生が多くなりました。退場の場面では、卒業生から担任の先生にサプライズの感謝の呼びかけがあり、厳粛な中にも温かいものが感じられるすばらしい卒業式となりました。

校長式辞では、卒業生との2年間を振り返り、秀明大学で教授を務めていたマークス寿子さんが「日本教育」という冊子の「明日の日本を背負う人間像」という著作の中で「21世紀に生きる日本人に必要な素質」として挙げられた三つの素質について紹介し贈る言葉としました。



卒業生答辞

《校長式辞》 抜粋

第一には、「グローバルにもものを見る知性、異文化とともに生きる力」です。

人も物も、富も犯罪も国境を越えて地球規模で動く時代となり、国境を越えて人々が集散しています。宗教や文化が混在・共存するためには、異なった文化、異なった民族を理解し、容認し、尊重することが大切になります。

それは決して容易なことではありませんが、自分と異なる人や物を、敵と見なすようでは共存はできません。

異文化・異民族と共存する第一条件は、共通言語で話し合い、理解の幅を広げ、共有できる知恵や情報を、大きくしていくことにあります。そのために必要なのは、好き嫌いや気分だけで物事を判断せずに、冷静な心、すなわち理性で物事をみることです。

第二には、「日本人のアイデンティティ 伝統を知ること」です。

人が確固として生きるために必要なのは「アイデンティティ」であるといえます。アイデンティティは自分が育った環境、文化、歴史を知ることによって得られます。言い換えれば「私は日本人」という自覚をもつことで、それは狭い意味での愛国心ではなく、他民族と、共に生きるのに必要な誇りであり、自信です。どの民族も国民も、自らの伝統に誇りをもち、それを護り、危機においてはそれを拠にしています。地球上の全ての人々が、自らのアイデンティティを大切にすることで、はじめて共存が可能になります。

第三には、「個人として生きる力、世界に通じる人格」です。

21世紀に地球を舞台に確固たる足取りで歩くのは、国や集団ではなく個人です。国境を越えるのは、個人であり、どの国のどの社会で活動するか、選択するのも個人となります。科学者や技術者、スポーツ選手、音楽家・画家などの芸術家には、すでに国境は存在しなくなっているのではないのでしょうか。21世紀は、優れたものや資質が、世界的な規模で、全人類に評価される時代です。普通の市民も、その人間性や能力故に、国境を越えて信頼され、尊敬される時代になりました。日本人だから尊敬されるのではなく、尊敬される個人がたまたま日本人であり、日本文化を背負っているのです。自己の確立のない人は、自国以外の国や社会で、生きることも活動することもないでしょう。

皆さんには、義務教育9年間の基礎の上に、これからの新しい学びを積み重ね、素晴らしい人格を形成し、21世紀を生きる人として、世界に羽ばたいてほしいと願っています。

《卒業生答辞》 抜粋 3年3組 池庄司 誠己さん

高田祭の後、本格的な受験シーズンに入りました。受験がせまり、不安に押し潰されそうになったこともありました。しかし、学校では、みんなが笑顔で声をかけてくれて、元気をもらいました。周りの人たちの支えによって受験を乗り越えることができました。

この三年間で僕は大きく成長することができました。その成長の裏には、常に仲間がいました。どんな悲しいことや辛いことがあっても、みんなと会うだけで、自然と笑顔になれました。体調が悪いときに心配してくれたり、相談にのってくれたり、たくさん仲間に支えられてきたことを強く実感しました。この学年は、楽しむときは楽しみ、やるときはやる、そんな学年だと思います。僕は、そんな最高の仲間とこの高田中学校が大好きです。みんなと過ご

した日々は一生忘れません。本当にありがとうございます。

これから私たちは、別々の自分で選んだ道を歩み始めます。その道は決して楽なものではないでしょう。これからどんな壁にぶつかっても、みんなと過ごした日々を糧にして乗り越えていこうと思います。これから待っている明るい未来へ向かって羽ばたいていきます。

《在校生送辞》 抜粋 2年3組 藤中 海人さん

今まで私たちは先輩方から様々なことを学びました。委員会や部活動では何をすればよいか分からず、ただ立ちつくしていた私たちに先輩方は一から丁寧に教えてくださいました。そしてそんな頼ることのできる先輩がいる、ということ当たり前だと感じていました。しかし、先輩方がいなくなってしまった後、私たちは初めて先輩方の凄さを感じました。先輩方から見て、私たちは言うことを聞かない後輩だったかもしれません。でも私たちは先輩方に憧れていて、そんな先輩方のことが大好きでした。卒業生の皆様、今まで高田中学校のリーダーとして私たちを支えてくださり、ありがとうございます。私たちは三年生を誇りに思います。そしてこれからも憧れの先輩でいてください。これからは私たち二年生が先輩方の築きあげてきたものを引き継ぎ次につなげていきます。今まで本当にありがとうございました。先輩方のご活躍を心よりお祈りいたします。

学校・家庭・地域連携事業 実行委員会の開催

3月3日（金）に学校・家庭・地域連携事業 実行委員会が本校図書室で開催されました。5月に実施された拡大実行委員会を受けて、本年度の連携事業の報告、予算の執行状況の報告及び高田中学校ブロックの小・中学校から児童生徒の様子の報告がありました。

小・中学校からの報告では、高田小学校での学校地域コーディネーターによる学習支援（5、6年生の家庭科補助、2年生のまち探検の安全確保）についての報告、高田東小学校での6年生によるあいさつ運動についての報告などがありました。中学校からは、学年ごとの報告がありました。1年では、自然教室で成長が感じられたこと、2年では、地域の事業所の協力より、充実した職場体験学習できたこと、3年では、進路がほぼ決定であり、和やかな雰囲気生活していること等の報告がありました。

また地域の皆様からは、「高田地区の子どもたちは、明るく素直でおとなしい。中学生などが街で集まっている姿は見られない」等の情報が寄せられました。今後とも学・家・地連の事業を中心に高田中学校ブロックの児童生徒の健全育成にむけて、活動を行うことが確認されました。

携帯安全教室

3月13日（月）の6校時に本校体育館で、1年生・2年生を対象に携帯安全教室を実施しました。今年度は、(株)NTTドコモにご協力をいただきまして「ス

マホ・ケータイ安全教室」をやってもらいました。

最初に、インターネットの特徴について解説をしてもらいました。インターネットの特徴として、「①世界中に公開 ②情報がずっと残る ③情報が不確か ④匿名ではない ⑤不正なアクセスも ⑥公共の場である」があげられました。それをふまえた上で、インターネットを利用するうえで起こりうるリスクについて、動画を交えながらお話ししてもらいました。不用意な情報公開による個人の特定や悪用、安易なインターネットへの投稿から将来にわたる悪影響、ネットでの交流から犯罪に巻き込まれるなど具体的な事例をふまえながら、説明されました。またトラブルに合わないために、フィルタリング・セキュリティ対策をきちんとするべきと言われました。最後にまとめとして、インターネット・スマホを利用するうえで、①ネットスキルを身につける ②フィルタリングの設定をする ③周囲に迷惑をかけない ④困ったときにはすぐに相談する、また何よりも「スマホ・ケータイを持つときは『責任』も持ちましょう」とアドバイスを受けました。生徒たちは、講師の話を中心に聞き入り、そこで話されていることが身近な問題であることを認識し、あらためてインターネットの扱い方について、考えたのではないかと思います。



当日の講演内容の詳細を知りたい方は、「(株)NTT ドコモ スマホ・ケータイ安全教室」とインターネットで検索してください。そちらの「応用編教材ダウンロード」で内容をご覧いただけます。また参加生徒には「スマホ・ケータイ安全教室 ポイントブック」が配布されております。合わせてご覧いただくと幸いです。

1年間のご愛読ありがとうございました。今年度も、保護者、地域の皆様には、大変お世話になりました。この学校だよりを通して、学校の様子を伝えてきたつもりですが、至らない部分も多々あったと思います。今年度は学校のホームページにも学校だよりの発行と同時にアップしています。ホームページ上の学校だよりは、カラー版になりますので、そちらもご覧いただくと幸いです。平成29年度も、中学校と保護者、地域を結ぶメディアとして発行していきたいと思っております。教職員一同、保護者の皆様、地域の皆様の中学校の教育活動に対するご理解とご協力に深く感謝しております。来年度もよろしくお願いたします。